

1. 開会

2. 校長あいさつ

午前中入学説明会を行った。コロナは落ち着いてきたが、インフルエンザが出ている。来年度に向けて、ご助言をお願いします。

3. 伊藤会長ごあいさつ

忙しい中でのコミュニティスクールとなり、コロナの中で新しいことに踏み出さなければならない状況。茅ヶ崎市の教育委員をしているが、まだ評議員を学校に呼ぶ状況になっていない。今後も慎重さを忘れずに、新しいことに踏み出していくことになる。

・石川様ごあいさつ

竹内様の代理での出席です。よろしく申し上げます。

4. 令和4年度の取り組みについて

■スライド資料を用いて説明。(資料4)

〈質疑応答〉

・トヨタは令和初めてか?きっかけは?(北村委員)

→県内で先行して取り組みがあり、紹介を受けたことがきっかけ。

・進路指導支援～専門職を交えた組織的支援の内容について説明を。(伊藤会長)

→専門職にケース会に入ってもらい、助言をしてもらっている。

・予防的ケース会の頻度について、年に2回で充分か。(北村委員)

→回数は2回だが、学部内での共有を継続して取り組んでいる。

・PTA 進路座談会のアドバイザーは?(北村委員)

→卒業生の保護者関係の方をお願いをしている。

・専門職とはどのような職業?(鷹嘴委員)

→本校は、言語聴覚士、臨床心理士を配置。その他、作業療法士、理学療法士を県内の5ブロックに配置し、相互に活用。神奈川県独自の取り組み。教員としての採用である。

■各学部の取り組みをスライドで報告。

〈質疑応答〉

・清掃技能検定の受験者数と合格者数は?(伊藤会長)

→生田東18名、川崎北14名、本校6名が受験。2級、3級が中心。

清掃技能検定の参加について、中学部の教員も審査員養成研修に参加。清掃技能検定の経験は進路上、生徒にとっても教員にとっても有用な取り組みなので、続けてほしい。

・地域の作業活動に出ていることはとても大切なことなので、よかった。

・進路の状況は?(北村委員)

→企業はほぼ決まっているが、福祉で決まっていないところもある。各分教室 1 名、本校は 9 割決まっている。

・工夫して行事や教育に取り組んでいる中で、気を遣うところは？(石川委員)

→安心、安全を第 1 に考えて取り組んでいる。(小学部)

ICT 機器の活用や共有など、授業力を上げることを考えて取り組んだ。(中学部)

精神的に不安定になることが多く、校内での支援(専門職)を心掛けてきた。(生田東)

コロナの影響がどの程度あったかは分からないが、心のケアが必要と思われた。(川崎北)

・コロナでできなかったことを再開するのは大変だと思うが、前とは同じ形ではなくてもやっていければよいかと考える。(程塚委員)

5. 学校評価部会

・学校評価アンケート集計結果をスライドにて報告。(資料 3)

・令和 4 年度学校評価(年間評価)(資料 2)

6. 意見聴取

・PTA進路委員ががんばって、座談会を運営してくれた。来年度は、PTAの保護者(委員)の負担を軽減できるように活動を考えていかなければならないと思う。やって楽しい、見てうれしいPTA活動を目指したい。(鷹嘴委員)

・口腔ケア等の部分で、まだやってはいけないことはありますか？(大塚委員)

→歯磨き再開を望む声はあるが、まだガイドライン上は難しいので、やっていない。

・校内評価で、できた、できなかったという自己評価ができてありがたい。学校は楽しいが、その先はわからないという状況があるが、卒業後のイメージをつける取り組みはどうか？(北村委員)

→進路学習を行っているが、生徒自身が自分のこととして認識することは難しい状況。

・盆踊り、夏祭り、秋祭りをやりたいという声は多いが、個々に難しい面はまだある。規模を縮小して行う方向では考えている。(程塚委員)

・地域に出ていこうとしている児童・生徒にも協力してもらえれば。(伊藤会長)

→上作町内会館に学校だよりを届けに行くといった活動が出来ればと考えている。

・社協でポッチャを中学部と行わせてもらっていたが、今年社協でポッチャを購入した。今後も一緒に交流していきたい。(石川委員)

・上作いこいの家(身代わり不動近く)にポッチャが置いてある。花見の活動制限があるが、地域の活動に参加してもらえれば。(程塚委員)

・開かれた学校と防犯という、相反する部分があるが、考えてもらいたい。(伊藤会長)

・授業改善は終わりががないので、継続して取り組んでもらいたい。(伊藤会長)

■学校運営について承認

7. 事務連絡

・卒業式のご案内を配付。

8. 閉会